

岡山県津山市 城東重要伝統的建造物群保存地区



津山市は、城下町の構成要素である城跡・武家地・町家・社寺地がセットとして良く残されている典型的な城下町です。城下を東西に貫く出雲街道は、古来より山陽と山陰を繋ぐ動脈として物資・文化・人の行き交う歴史の回廊であり、津山の歴史を支えてきた貴重な歴史遺産です。

城東地区はその名のとおり市中心部にある



城東むかし町

その歴史的な町並みの中で、毎年4月頃には町おこしのイベントでもある「城東むかし町」が開催され、出雲街道沿いに出店が並び、多くの人々がお祭りを楽しみます。他にも城

津山城の近傍を南北に流れる宮川を隔てて東側の地区を指します。北側には社寺及び武家地、南側は東西に延びた出雲街道に沿って町人地が形成されました。出雲街道沿いには往時の敷地割と、江戸末期を中心に明治大正の伝統様式の町家遺構が数多く残っており、平成25年8月に岡山県で3番目に重要伝統的建造物群保存地区に選定されました。



箕作阮甫旧宅

東地区には国指定史跡の箕作阮甫旧宅や登録有形文化財である旧梶村家住宅、津山の洋学の歴史を伝える津山洋学資料館など観光施設が集まっています。

城西重要伝統的建造物群保存地区と周辺地区



作州民芸館



津山・城西まると博物館フェア

津山の中心部の津山城より西側には町人地、社寺地が広がる城西地区があります。地区には出雲往来を挟んで南北に多数の寺社や昔ながらの町家が多く残っており、その中には津山藩主森家の菩提寺で、国指定重要文化財である本源寺をはじめとして文化的に価値の高いものがあり、令和2年12月に城西地区は重要伝統的建造物群保存地区として選定され、城東地区と城西地区の2つの重要伝統的建造物群保存地区を持つ都市となりました。周辺には登録有形文化財の作州民芸館や城西浪漫館（旧中島病院本館）は大正期の建物がその

まま残されている施設であり、観光スポットとしてまた地域住民の憩いの場として活用されています。

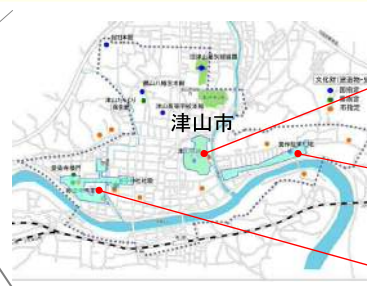
城西地区ではそういった歴史的な町並みや人々の暮らしを一つの博物館ととらえる「城西まると博物館構想」を進めており、毎年10月には「津山・城西まると博物館フェア」が開催され、歴史的な町並みの中に手工芸やクラフトのお店が立ち並び、ステージイベントなども行われ、たくさんの人が訪れます。

【国指定史跡】 津山城跡



津山城は慶長8年（1603）に18万6500石の大名として入封した森忠政によって津山盆地の中央部、鶴山の地に築城されました。当時は外郭を含め77棟の櫓を持ち大変規模の大きなものでした。現在は石垣がそのまま残されているほか、平成17年には備中櫓が復元されています。

現在は鶴山公園（かくざんこうえん）として整備がされており、桜の名所となっています。毎年4月にはさくらまつりが開催されており県内外からの多くの観光客で賑わいをみせ、そのほかにも季節に合わせた様々な催し物が行われています。



津山城跡（鶴山公園）
JR津山駅から徒歩15分

城東重要伝統的建造物群保存地区
中国道津山ICから車で約15分
JR津山駅より徒歩約20分

城西重要伝統的建造物群保存地区
中国道津山ICから車で約15分
JR津山駅より徒歩約25分